

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 観光課
 担当名: DMO支援・観光振興担当
 内線: 3952 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N109	観光統計調査事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費	
事業期間	平成21年度～	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 8
						分野施策	0802	地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット 8-9
<p>1 事業の概要 埼玉県5か年計画及び埼玉県観光づくり基本計画の指標を算出するための調査を実施する。</p> <p>ア 観光入込客パラメータ調査 △1,845千円 イ 外国人実態調査</p>				<p>5 事業説明 (1) 事業内容 ア 観光入込客パラメータ調査 13,930千円 (ア) 四半期ごとに県内の観光地10地点で観光客に対し、アンケート調査を実施する。 (イ) 人流データを用いた観光入込客数調査を実施する。 (ウ) インターネット調査を実施する。 イ 外国人実態調査 9,905千円 携帯基地局データを用いて外国人観光客の県内入込客数を推計する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 観光入込客パラメータ調査 (ア) 国の統計基準に基づき、観光客の居住地、日帰り・宿泊別、旅行目的、同行者数、訪問地点数、観光消費額などの聞き取り調査を行う。 (イ) 国が実施する他の調査結果及び市町村別の観光入込客数の調査結果を統合し、埼玉県の観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額を推計する。 (ウ) 令和6年度に発表された国の共通基準(一部改定)に基づき、人流データを用いた観光入込客数調査・インターネット調査を実施する。調査結果について、従来の手法による調査との比較検証を行い、令和8年度以降の調査方法を検討する。 イ 外国人実態調査 (ア) 施策の効果を測定するとともに効果的な施策を打ち出すため、県内の外国人観光客数等を把握する。 (イ) 調査結果を活用して、外国人観光客の受入体制の整備促進を図る。</p> <p>(3) 事業効果 ア アンケート調査の結果及び観光入込客数のデータを用いて分析し、報告書を作成する。 イ 調査結果から得られた外国人観光入込客数のデータを用いて分析し、報告書を作成する。 分析結果を今後の観光施策の企画立案の基礎資料とする。</p> <p>(4) 補正予算の概要 事務費の節減により生じた執行残の減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(款)商工行政費 (細目)観光及び物産振興費(細節)観光及び物産振興費</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円</p>									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,845							△1,845	23,835
現計額	25,680							25,680	

事業内訳書

事業名	観光統計調査事業		
単位事業名	観光入込客パラメータ調査事業	予算額	△ 1,845千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,845	—	
合計	△1,845	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△166	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
旅費	△3	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
委託料	△1,676	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
合計	△1,845	—	